

DG/ML活用方法

企業ロゴなどを想定した
リファレンススライド

ソフトを起動



デスクトップのアイコンを左に二回連続クリック(以下、ダブルクリック)して、ソフトを起動してください。

TAJIMA DG15 by Pulse - Start Page

TAJIMA group official site.

TAJIMA DG/ML BY PULSE

ネーム刺しゅうソフト
Autograph
オートグラフ

ネーム入れビジネスに最適な、新しいソフトウェア「オートグラフ」

多様なフォント 糸ギャラリー テンプレート パワフル編集ツール

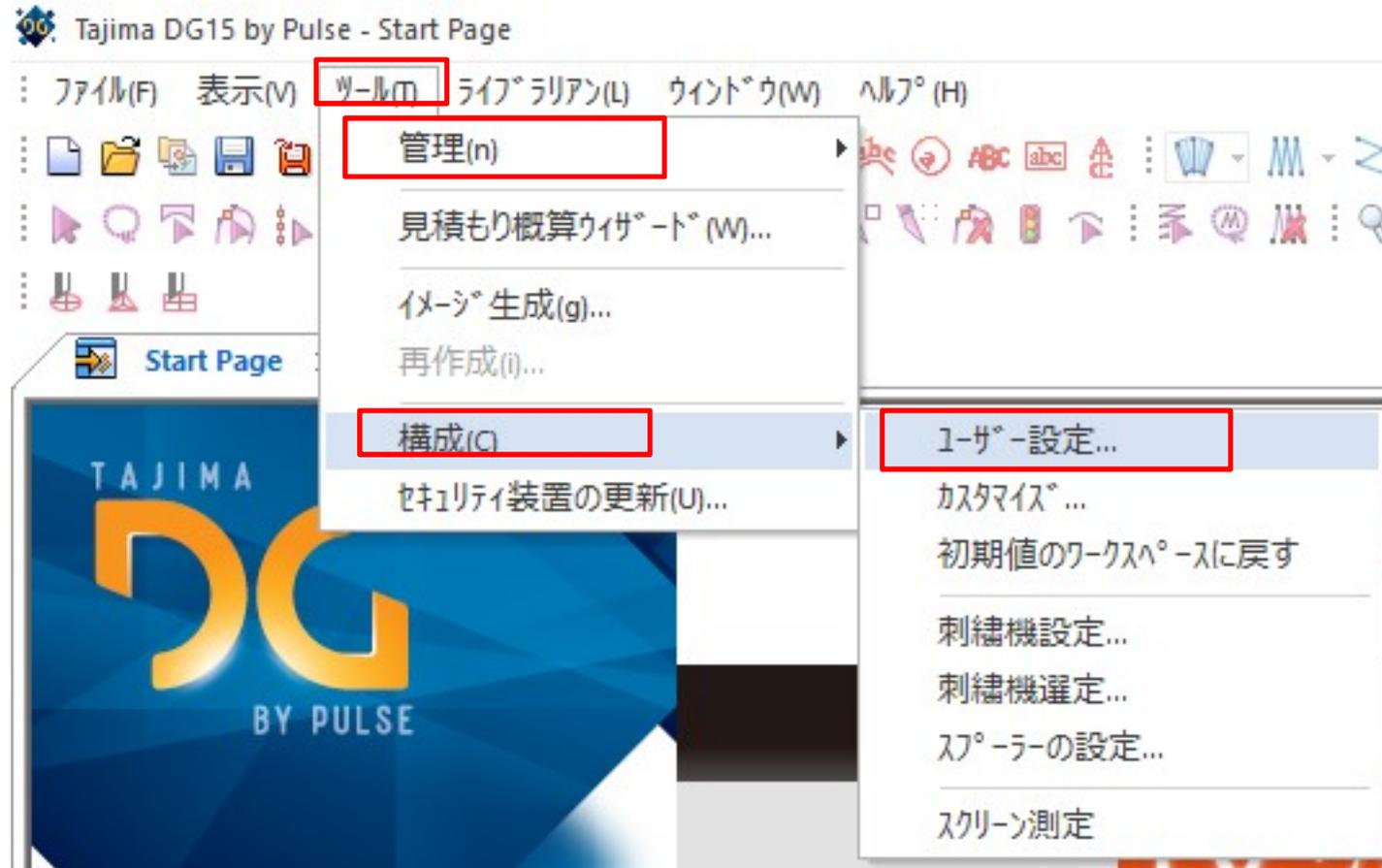
簡単操作で、すぐに使えます

プロパティ

ぼかし	なし
リフト最大ぼかし範囲	3.0 mm
リフト最小ぼかし範囲	1.0 mm
ぼかしリフト値	50
ステッチ	
糸密度	0.0 pt
フィラメント	Satin
フィラメント	標準
変更後のステッチ長	4.0 mm
ステッチ長を変更	<input type="checkbox"/>
リフト値	40.0 %
リフト範囲	3.0 mm
最小リフト範囲	1.0 mm
リフト範囲の制限を...	<input type="checkbox"/>
糸密度プロファイル	
最大糸密度 (+/-)	20.0 pt
糸密度プロファイル	なし
下歩き	中央治い
輪郭追いつまみ	0.0 mm
糸密度リフト値	50.0 %
リフト糸密度	<input type="checkbox"/>
ステッチの品質	
間引きステッチ	標準
自動糸密度リフト	リフト
スタートリフト基準...	0.5 mm
エンド伸長の長さ	両方
エンド伸長の長さ	0.2 mm
エンドでの伸長ステッチ	<input type="checkbox"/>
コーナー伸長の最小角度	30.0 -
コーナー伸長の最大角度	100.0 -
コーナー伸長の長さ	0.2 mm
コーナーでの伸長ステッチ	<input type="checkbox"/>
折り返しステッチ	
折り返しステッチ	リフト
リフト範囲	1.0 mm

ユーザー設定の見直し

使いやすい設定にすることで、作業の効率が上がります。



ユーザー設定(一般)

作図モード(入力方法)は、ベジェもしくは、クイックドロワーに設定します。

ユーザー設定

×



The '一般' (General) settings window. The '入力ツールの作図モードの初期値' (Initial drawing mode of the input tool) dropdown menu is highlighted with a red rectangular box and is set to 'クイックドロ' (Quick Draw). Other settings include '言語' (Language) set to '日本語', '会社名' (Company Name) set to 'pulse', '価格設定' (Price Setting) with '価格/1000ステッチ' (Price/1000 Stitches) set to '¥1', '初期エント禁止め' (Initial Entry Prohibition) set to 'ベージク' (Beziq), and a checked checkbox for 'イメージをPXFファイルに保存' (Save image to PXF file).

高価なソフトウェアでは
クイックドロで操作することがございます。
ここではクイックドロ設定で作図を行います。

OK

キャンセル

ユーザー設定(環境)

左右上下よりも、拡大縮小動作が多いと想定した環境作り

ユーザー設定

×



環境

自動保存タイマー: 分間隔

保存お知らせ: 分間隔

マウスホイールの操作

スーム方向の交換

スーム率 (%で増減):

スタート/ストップ点をマニュアル入力

オフ オン 複合フィルとサテンを除きオフにする

交差入力を自動修正 自動パンニングを有効

スタイルを自動的にリセット 自動ハンドル表示

必要に応じてアイコンを作成 作成したアイコンを保存

右クリックでセグメントを完了 選択ツールでステッチ角度を編集

ステッチ角度ツールでアウトラインの選択 変形ツールでアウトライン選択が有効

セグメント変換時の自動スタート/ストップ

ユーザー設定(単位)

単位は、ミリメートルにすべて統一させます。

ユーザー設定

×



The '単位' (Units) settings dialog box. It contains three sections:

- 使用する単位 (Units to use):** メートル法(mm) (highlighted with a red box), インチ法(インチ)
- 刺繍設定単位 (Embroidery settings unit):** ミリメートル (highlighted with a red box), ポイント, インチ
- 糸密度の単位 (Thread density unit):** ミリメートル (highlighted with a red box), ポイント, ステッチ数/インチ(SPI), 絶対値の糸密度

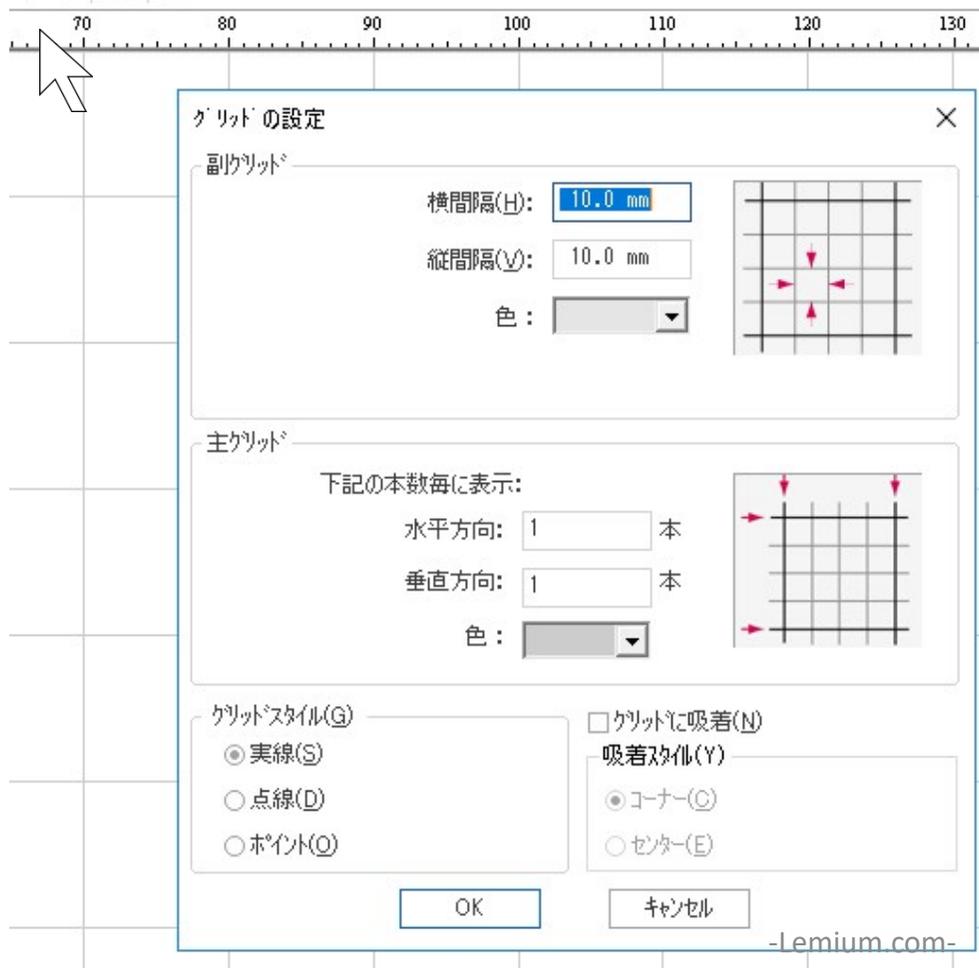
At the bottom right, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

※一部は反映されない項目もあります。
Ex)文字間隔設定、糸密度

グリッド設定の確認

マス目の設定をシンプルにすることで、入力ミスを防ぎます。

右クリック



水平をしっかりとりたい場合は、
グリッドに吸着機能に
チェックを入れます

表示ウィンドウ

表示される項目を選択すると、入力の簡素化を行えます。
表示設定で以下のように選択します。

左は推奨設定です。

文字の詳細設定(プロパティウィンドウより簡素、上記のほうが扱いやすいケースがあります)

セグメントの順序変更

セグメントの詳細内容

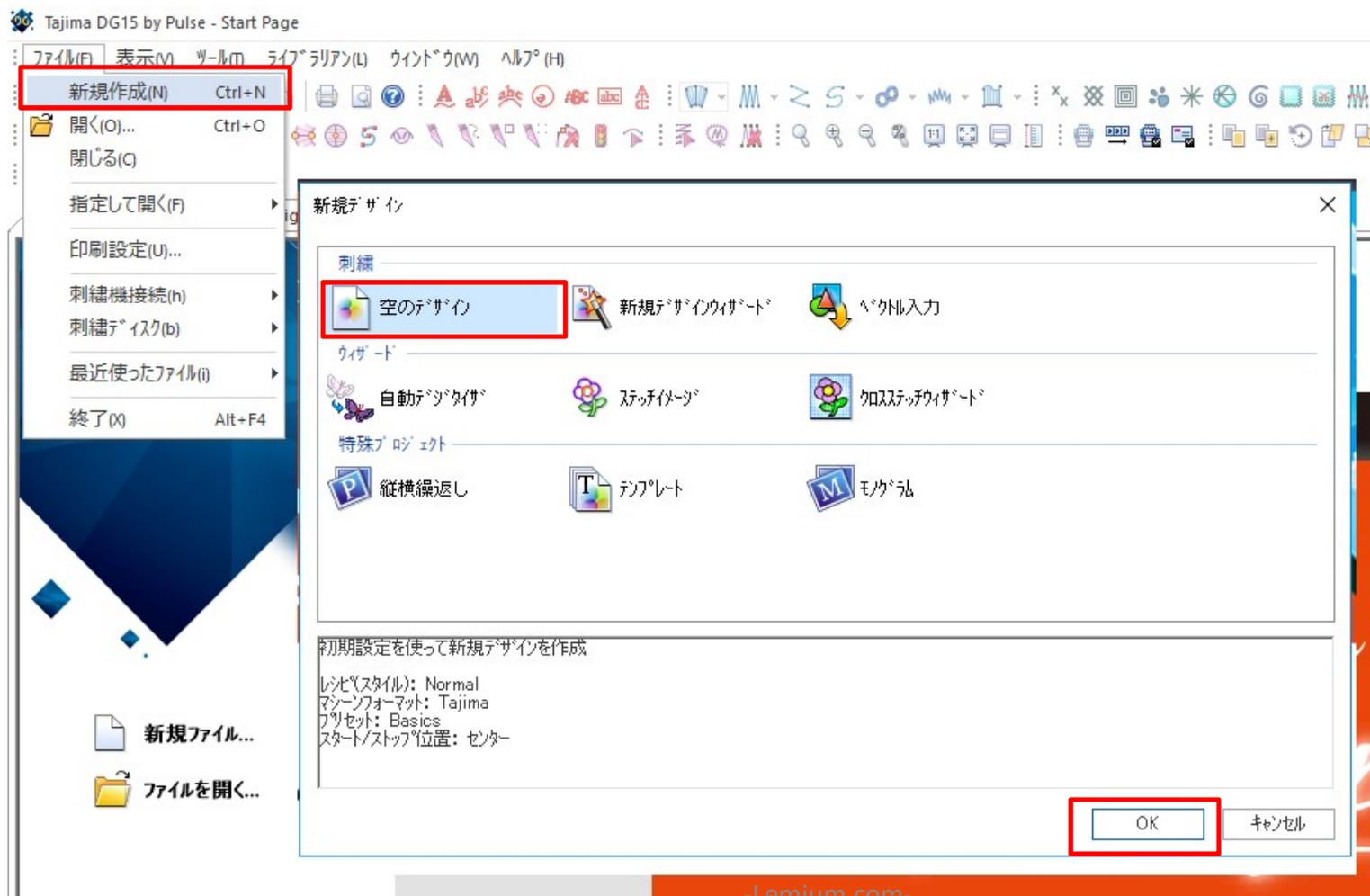
カラーパレットです、ここを押して、次の色替え選択をします。

Lemium.com

The image shows a CAD software interface. On the left is the '表示' (Display) menu with various options like '表示(S)', 'ズーム(Z)', '実寸表示(B)', and '順序表示'. In the center is a workspace with a grid, the text 'ABC', and a blue flower. On the right is the '順序表示' (Order Display) panel, which is highlighted with a red box and contains two sub-panels: 'セグメントの順序変更' (Change Segment Order) and 'セグメントの詳細内容' (Detailed Content of Segment). A red box also highlights the '順序表示' panel's title bar. At the bottom, a red box highlights the 'Lemium.com' watermark.

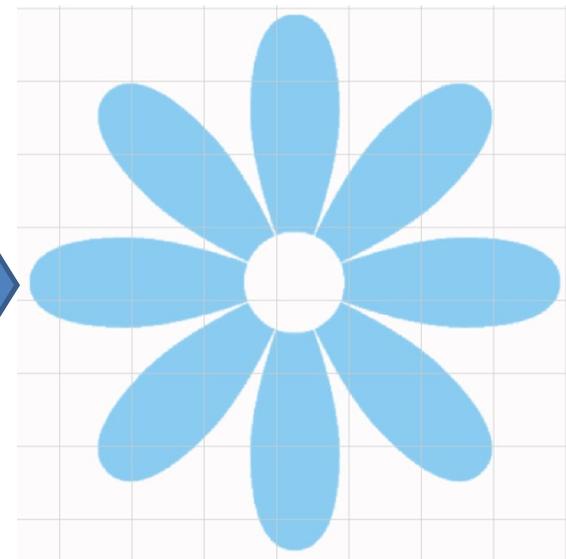
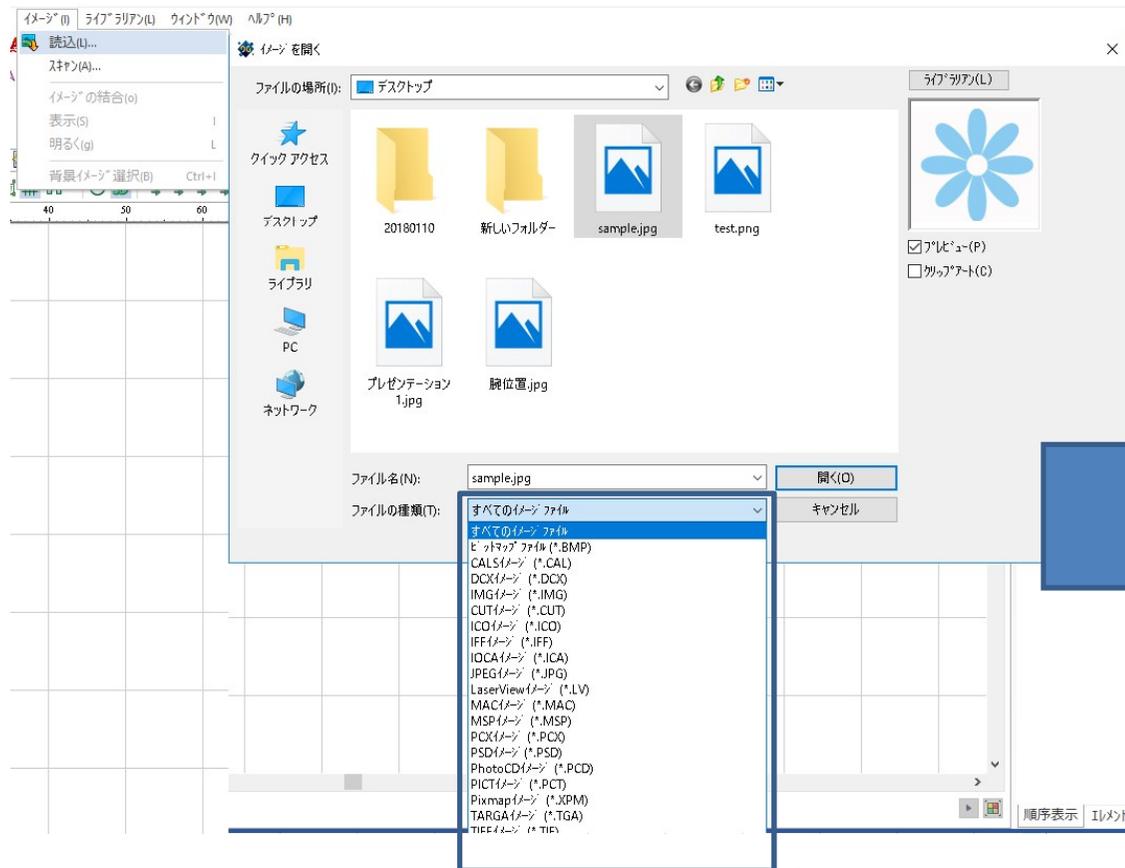
新規にデータを作成する

1からデータを作成する場合は、空白のキャンバスから始めます。

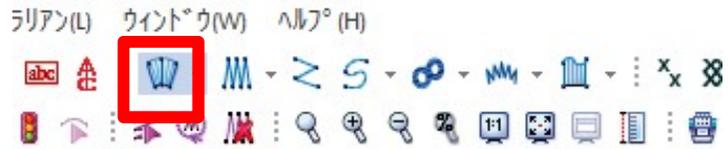


イメージを取り入れる

刺繍したい元の原画画像を取り入れます。
顧客メールから画像が送られて、それを下地にして刺繍をする想定です。

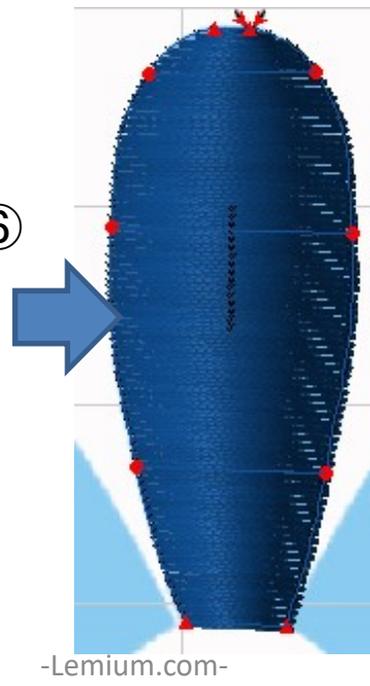
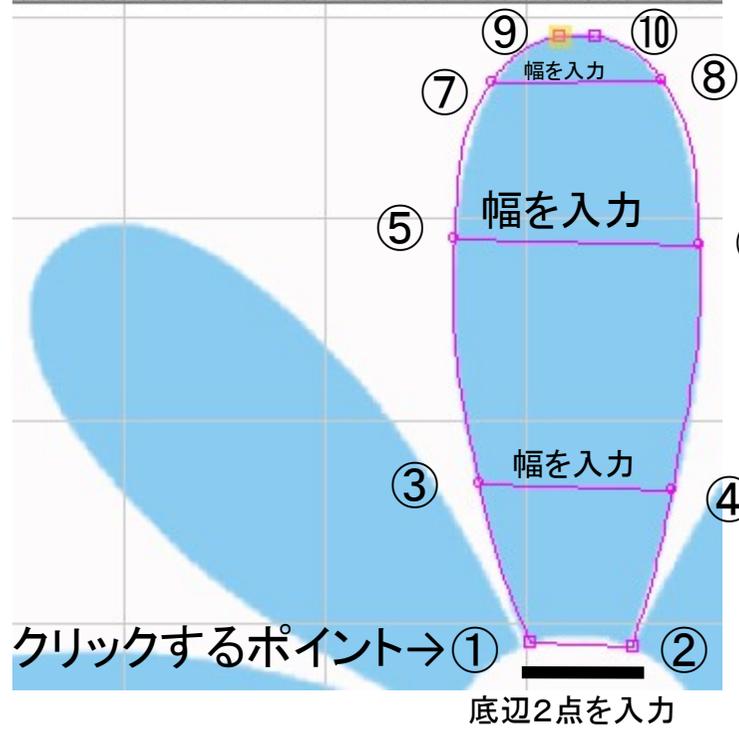
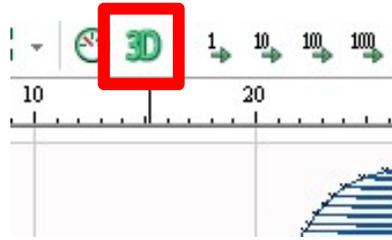
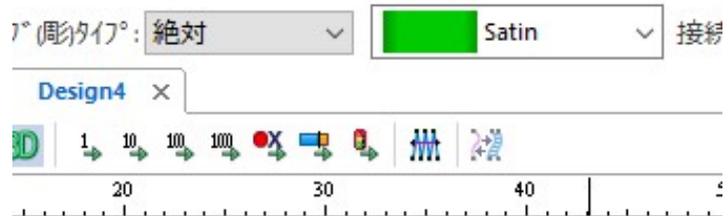


エンハンスコラムを活用しよう

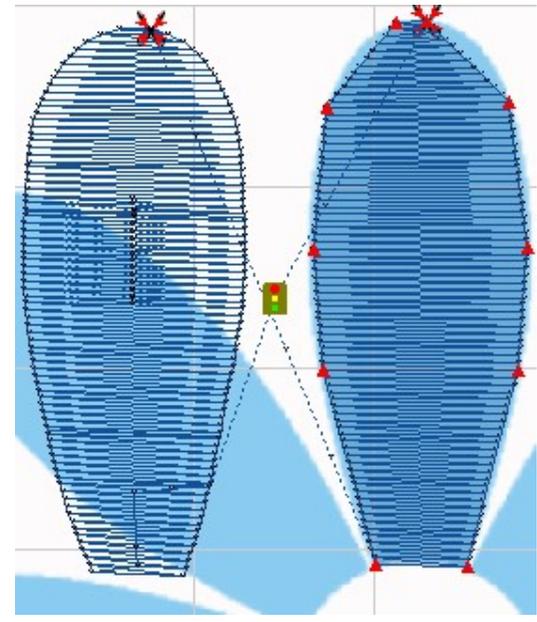


3Dボタンを押して、刺繍目を出すと
出力するデザインのがりが大まかにわかります。

Check!



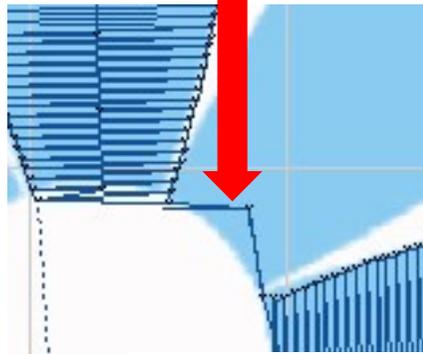
右クリックは曲線のポイント
左クリックは直線のポイント



右クリック

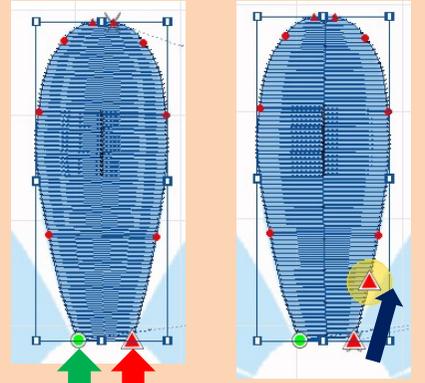
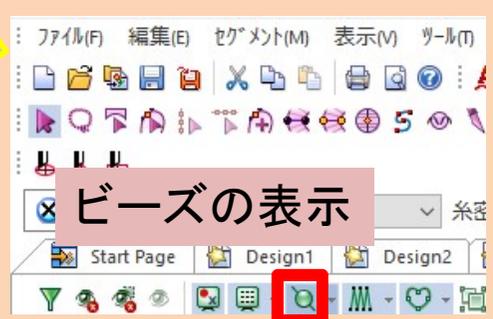
左クリック

ランを活用



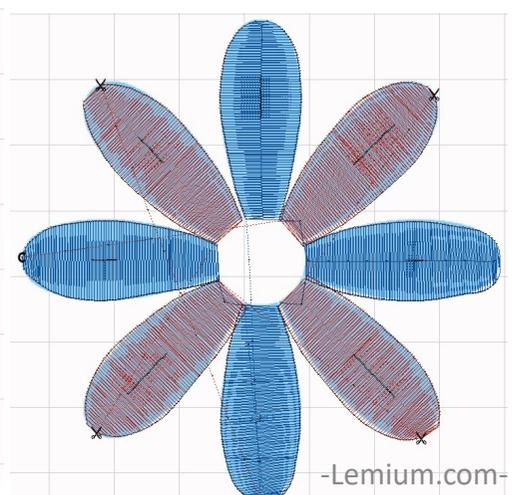
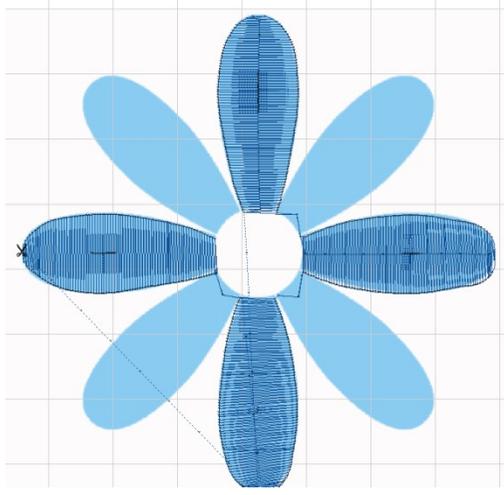
接続で設定した糸では綺麗につないでいかないので、
このようにランをつなぎ糸として活用します。

補足

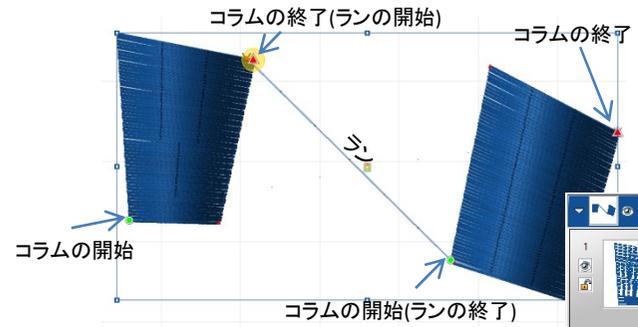


セグメントの開始
セグメントの終了

補足:セグメントの
開始終了の移動



-Lemium.com-



コラムの開始終了点は、
セグメント選択で変更を行います。



セグメントの中身

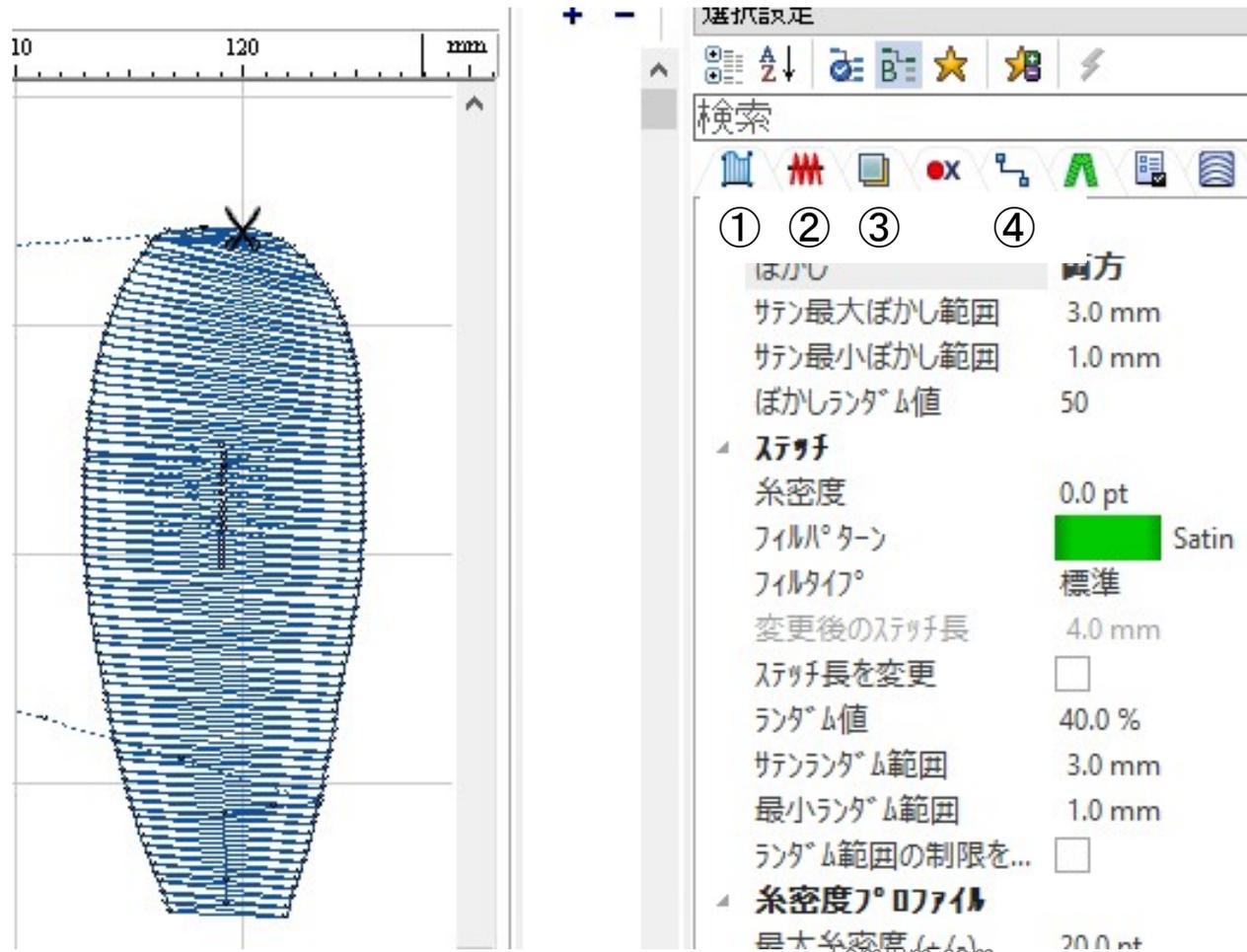
セグメントとは・・・刺繍デザインの部品です

刺繍する部品1つずつのことをセグメントといいます。ここでは5つのセグメントで構成されています。

1つのセグメント毎にプロパティ設定を行います。複数選択すれば、一括でプロパティ変更も可能です。

プロパティの中身②

先ほど入力したエンハンスコラム(セグメント)のプロパティについて
頻繁に使う項目を理解してきましょう。



The image shows a software interface for embroidery design. On the left, a needle path is shown on a fabric piece, with a scale bar at the top indicating 10 and 120 mm. On the right, a properties panel is open, titled '選択設定' (Selected Settings). The panel contains various settings for the selected segment, with four numbered callouts (①, ②, ③, ④) pointing to specific settings:

- ①: 糸密度 (Thread Density)
- ②: 縮み補正 (Shrinkage Correction)
- ③: 下縫い (Understitch)
- ④: 接続 (Connection)

The properties panel also includes sections for 'ほかし' (Darning), 'ステッチ' (Stitch), and '糸密度プロファイル' (Thread Density Profile).

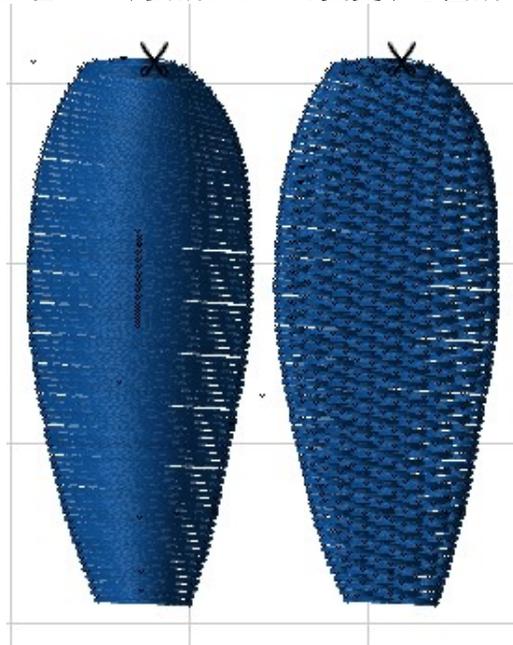
メインとなる4つの設定

- ① 縫い方(サテン、タタミなど)
糸密度
- ② 縮み補正
- ③ 下縫い
- ④ 接続

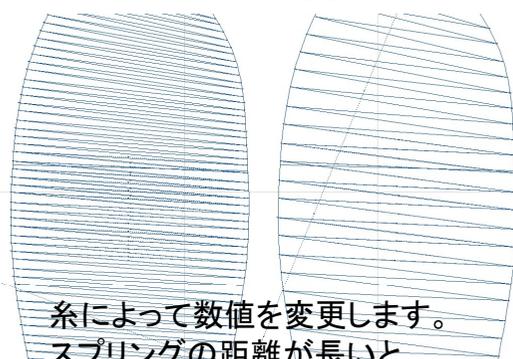
プロパティの中身②

縫い方(主にサテンとタタミ)

風合いや、要所によって変更する箇所です

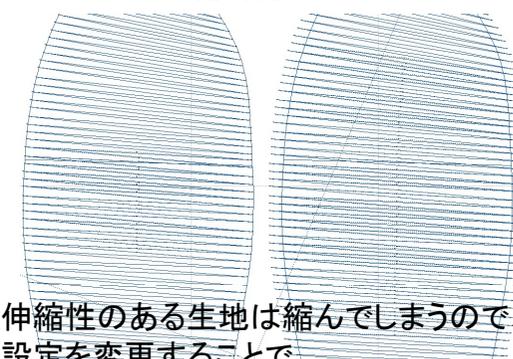


糸密度



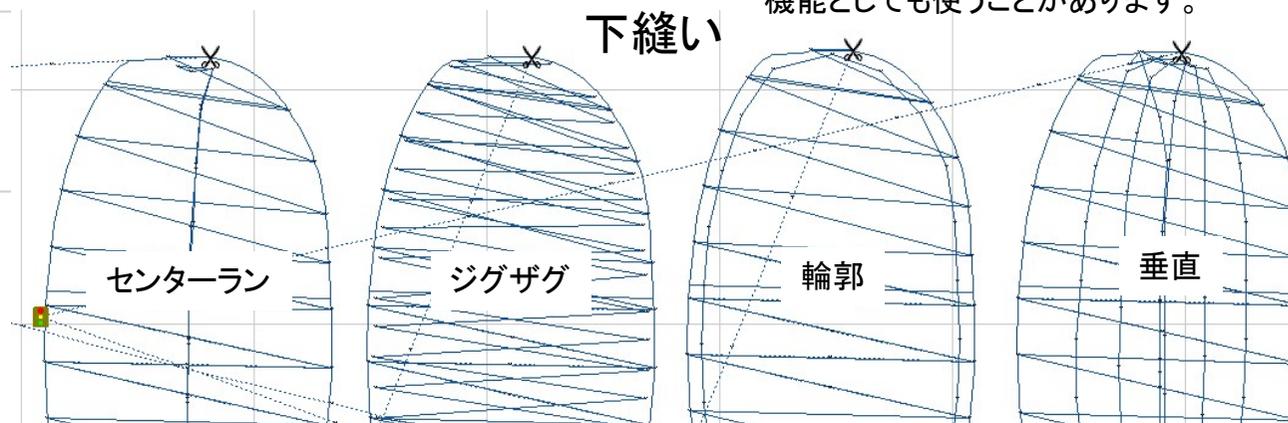
糸によって数値を変更します。
スプリングの距離が長いと
密度は薄くなり結果的に
太い糸に適した設定になります。

縮補正



伸縮性のある生地は縮んでしまうので、
設定を変更することで、
本来のふり幅を保てます。
ふり幅(太さ)を大きくしたり小さくしたりする
機能としても使うことがあります。

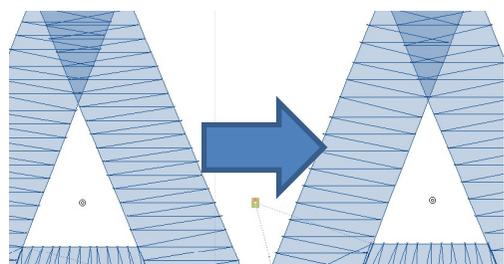
下縫い



下縫いは、主に生地を安定させてから縫うという観点で設定を行います。
また、タオルなどのパイル生地などは、下縫いで倒してから縫うとクオリティが向上します。

糸密度おさらい

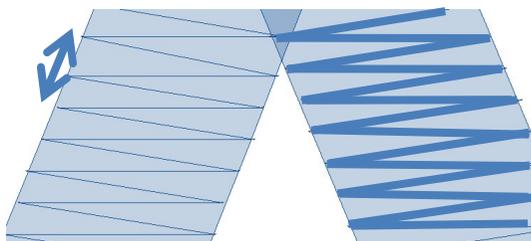
- 細い文字などは、糸密度の数値を上げる



文字が小さい場合は、同じ場所に針落ちしたり糸が纏まってしまい、風合いが硬くなるので、糸密度を粗くすると、安定します。

Ex) おおよそアルファベットで7mm以下の文字

- 細い糸の時は、糸密度の数値を下げる



細い糸を利用して埋めると、左図のスプリング形状の空白が目立ちます。逆に太い糸を使用すると、針数が少なくても埋めることができます。

※密度の数値を下げると、小さな文字が綺麗にできます。
しかし、結果的に針数が増えるため、生産性が下がります。

プロパティの中身③<接続>

糸を切ると、後で表面処理を行わなくて済みます。
しかし、機械が糸切動作を行うため生産性が落ちてしまいます。
1色毎にセグメントを重ねながら、デザインを作成します。

1セグメントが終わった後の糸切間隔設定です。

The screenshots show the 'Smart Knot' settings in a software interface. The settings are as follows:

設定項目	設定値
接続で糸切り	<input checked="" type="checkbox"/>
接続の糸切り間隔	2.0 mm
ランスタッチで接続	<input type="checkbox"/>
接続の最大ランスタッチ長	3.0 mm
糸止めスタッチ後に糸...	<input type="checkbox"/>

The second and third screenshots show the same settings, but with the '接続の糸切り間隔' (Connection thread cutting interval) set to 10.0 mm.

-Lemium.com-